



赤い羽根共同募金運動

令和7年度事業報告

～ やさしさ ひろげて ～



(令和7年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概 要

1 募金状況 -----	1
2 助成状況 -----	1

第2部 事業実施状況

第1 募金活動

1 社会的ニーズの把握 -----	3
2 助成要綱の制定 -----	3
3 助成申請の受付 -----	3
4 助成計画の策定と目標額の設定 -----	3
5 広報活動 -----	4
(1) 県民全体への広報 -----	4
(2) 本会ホームページによる広報 -----	6
(3) 健康福祉大会での広報 -----	7
(4) 報道機関による広報協力 -----	7
(5) 地元プロサッカー клубによる広報協力 -----	9
(6) 地元プロ野球球団による広報協力 -----	10
(7) 静岡県による広報協力 -----	10
(8) 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 -----	11
(9) NHK静岡放送局による広報協力 -----	11
(10) 遺贈寄付に関する関係機関への周知 -----	11
6 寄付依頼活動(募金活動) -----	12
(1) 赤い羽根共同募金 -----	12
① 一般募金 -----	12
② 課題解決プロジェクト募金 -----	14
(2) 地域歳末たすけあい募金 -----	15
(3) NHK 歳末たすけあい -----	15
7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付) -----	16
(1) 社会貢献型自動販売機による寄付 -----	16
(2) 物品による寄付 -----	16
(3) 寄付つき商品による寄付(募金百貨店プロジェクト) -----	17
(4) ネット募金 -----	18
(5) 「PayPay」アプリによるオフライン寄付 -----	18
(6) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分) -----	18

第2 助成活動

1 共同募金による助成 -----	19
2 緊急等助成資金による助成 -----	20
(1) 災害見舞金 -----	20

(2) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業	20
3 “赤い羽根”夏休みこども食堂支援セット助成事業	20
(1) 寄付の状況	21
(2) 助成先	21
(3) 贈呈式	21
4 助成効果の測定と実地監査の実施	21
(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動	21
(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)	22
(3) 広域活動団体による地域福祉活動	22
(4) 子ども食堂誕生日会・福産品応援事業	22
第3 その他の活動	
1 災害等準備金の状況	23
2 災害義援金の状況	24
3 災害時業務支援資金	25
4 他団体助成事業の受託事務	25
5 顕彰活動	26
(1) 令和7年度全国社会福祉大会における表彰	26
(2) 令和7年度静岡県健康福祉大会における表彰	26
(3) その他の顕彰	26

第3部 法人運営

第1 会務の運営	
1 理事会	27
2 評議員会	28
3 監事監査	29
4 評議員選任・解任委員会	29
5 配分委員会	29
6 本会開催の会議等	30
第2 その他の会務の運営	
1 関係機関との連携	31
(1) 中央共同募金会主催の会議等	31
(2) 社会福祉協議会主催の会議等	31
(3) その他の会議、外部研修等	31
2 共同募金運動募金経費	31
3 社会福祉法人指導監査	31
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿	32

※事業報告書中、「本会」とあるのは「静岡県共同募金会」の略称です。



第1部 概要

複雑化・多様化する福祉課題下での“赤い羽根”共同募金運動

“赤い羽根”共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として始まって以来、募金ボランティアの尽力により、これまでの79回の運動で静岡県内の寄付金総額は約334億円、助成総額は約294億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

現在、地域には、人口減少、世帯規模の縮小や単身世帯の増加といった社会構造の変化に加え、急激な物価高騰等により、孤独・孤立の状況に置かれている人々や、生活に困窮する人々が数多く存在し、我々を取り巻く福祉課題はこれまで以上に複雑化・多様化している。また、近年多発する台風や地震災害等で被災された方々への支援も大きな課題となっており、制度外ニーズへの対応も含めて、“赤い羽根”は時代の求める様々な支援に応える大きな役割を担っている。

1 募金状況

令和7年度は、令和7年9月12日付け厚生労働省告示第241号により、令和7年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間を運動期間と定め、目標額を5億1000万円として県内全域で運動を展開した。

多くのボランティアの皆さんとともに積極的に運動に取り組み、募金活動では、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用も行い、近年の新しい募金手法である課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)、ネット募金、寄付物品の受入、寄付付き商品による寄付、PayPayを利用した募金などにも積極的に取り組んだ。

その結果、対前年比では▲4.8%の減少となったが、約4億7998万円を確保し、経済的困窮や社会的孤立等で苦しんでいる方々を支援しようという県民の皆様の思いが集まった運動となった。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	312,493,000	297,200,063	95.2	▲22,240,313	93.1
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(3,360,000)	(10,968,474)	(326.5)	(3,985,223)	(157.1)
地域歳末たすけあい募金	176,538,000	165,308,979	93.7	▲3,997,267	97.7
NHK歳末たすけあい	20,969,000	17,475,545	83.4	1,678,234	110.7
合計	510,000,000	479,984,587	94.2	▲24,559,346	95.2
前年度	534,000,000	504,543,933	94.5	17,198,989	103.6

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～12ページ)

2 助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」の助成テーマのもと、高齢者の孤立を防ぐ仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の機器整備、こどもを地域で見守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害等準備金として積み立てた。

その結果、助成実績は、209件、4億60万円余となり、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	113	219,420,350	▲32	▲20,954,710	91.3
地域歳末たすけあい募金	34	160,475,932	0	▲3,398,433	98.0
NHK歳末たすけあい	62	20,708,000	▲5	719,000	103.6
合計	209	400,604,282	▲37	▲23,634,143	94.5
前年度	246	424,238,425	▲32	▲5,810,289	98.7

(助成実績は別冊統計資料 14～33ページ)



第2部 事業実施状況

近年、生活環境、家族等との対人関係、社会的不安、経済的困窮など、様々な要因により生きづらさを抱え孤独・孤立の状況に置かれる人がいることなどの課題が顕在化しており、そうした人々は複雑化した生活課題に直面しており、多面的な支援が必要とされている。

一方、社会貢献活動の多様化やキャッシュレス決済の加速等に伴い、平成7年度をピークに募金額の減少が続くなど、共同募金を取り巻く課題も大きくなっている。

厳しい状況が続くなか、令和7年度の活動実施にあたっては、さらなる赤い羽根共同募金運動の活性化を図るため、事業計画に基づき、昨年度に引き続いて全国の共同募金会が一斉に取り組む「全国共通助成テーマ」と「重点助成分野」を掲げ、持続可能な開発目標(SDGs)を支援するとともに、本県独自の「“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト」の推進に取り組んだ。

全国共通助成テーマ

目的：地域の重要なニーズをひとつに絞って人々の関心を引き起こす
テーマ：「つながりをたやさない社会づくり～あなたはひとりじゃない」

重点助成分野

目的：幅広い切り口から共同募金の助成を可視化し、使途の具体的なイメージづくりにつなげる



重点助成分野のイメージ

共同募金は、全国で年間4万件を超えるさまざまな活動への助成を行っていますが、中でも次のような活動分野を重点的に応援していきます。

<p>誰をも受け入れ、誰もが参加できる地域づくり</p>  <ul style="list-style-type: none"> 障がいがある人たちの地域就労への支援 多様で持続的な当事者活動への支援 新しい当事者活動の立ち上げ支援 LGBTQ・外国ルーツの住民の地域への参加 	<p>健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくり</p>  <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の孤立を防ぐ活動への支援 地域でいきいきと元気に活躍できる場の創出 	<p>生きづらさを抱える子ども・若者とその家族への支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> 孤独・孤立にある子ども・若者の居場所づくり 子ども食堂・フリースクールへの支援 ひとり親家庭に対する支援 ヤングケアラーへの支援
<p>災害ボランティア活動への支援</p>  <ul style="list-style-type: none"> 災害時のボランティア活動への支援 災害時に備えた見守り支援 災害時のボランティア活動機器のネットワーク化支援 	<p>生活に困難を抱える人々への緊急支援 (地域歳末たすけあいを中心に実施)</p>  <ul style="list-style-type: none"> 経済的困窮にある人への食支援 住まいを失った人への居住支援 その他の緊急支援活動の創出支援 	

“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト

趣旨：赤い羽根共同募金運動を活性化するためには助成金の使いみちを知ってもらうことが重要であり、特に市町社会福祉協議会が行う地域福祉活動は多岐に亘り、その使いみちを寄付者目線で分かりやすく明示する必要があることから、引き続き市町社会福祉協議会で本プロジェクトを実施

- 【STEP1】**“赤い羽根”助成標示強化プロジェクト～見せませ使いみち～
使いみちを分かりやすく見せることを目的に、実施事業に“赤い羽根”のタイトルをつけることを助成条件として、助成要項の提出を求める。
- 【STEP2】**“赤い羽根”イチオシ助成プロジェクト～解決します困りごと～
社会福祉協議会が行う共同募金助成金を財源にした事業の中から、社会福祉協議会が重点的に行う“イチオシ事業”を、助成金を活用する寄付者目線で掲げ、アピールするきっかけづくりをする。
- 【STEP3】**“赤い羽根”地域応援プロジェクト～支え合うまちづくり～
地域の担い手を育てて実践活動につなげる助成メニューを活用して、使いみちを分かりやすく「見える化」する。



第1 募金活動

共同募金は、地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定めて行う計画募金である。そのため社会的ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 社会福祉法第119条の規定に基づき、共同募金の実施に先立ち、静岡県社会福祉協議会に対して目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として地域福祉活動計画等を定め、地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、その活動財源として共同募金の役割は大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。
併せて、地域福祉活動計画の策定・見直し時や事業計画・事業報告の作成時には、多様な活動の資金調達手法の一つとして共同募金を積極的に計画に位置付けて地域住民への周知を図り、共同募金運動そのものが活性化するように、市町社会福祉協議会に対して周知・徹底を行った。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、申請時、実地調査時、交付請求時などの際に意見交換を行い、現状把握と助成効果の確認に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努め、助成を行う参考とした。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金の基礎となるものであるため、社会情勢や社会的ニーズに合わせて見直しを行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。
また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和7年4月1日(火)～5月15日(木)
----------	----------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く県民が閲覧できるように、ホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、社会福祉法人、特定非営利活動法人等に助成案内を直接送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、ふじのくにNPO活動支援センター、男女共同参画センターあざれあ等に、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 市町共同募金委員会においても、それぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画の策定と目標額の設定

- (1) 助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。令和7年度は、目標額を5億1000万円とし、6月30日(月)の配分委員会で助成計画を承認後、7月11日(金)の理事会(書面決議)で目標額を決定した。
- (2) 社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月26日付けの官報(号外第215号)で公告した。



■令和7年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額

(単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経費 ②	目標額 (①《》書き+②)
	件数	申請額			
一般募金	94	249,502	257,746 《242,646》	69,847	312,493
地域歳末 たすけあい募金	34	171,504	171,504 《171,504》	5,034	176,538
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月2日～10月31日		30,084 《20,171》	798	20,969
計	128 (145)	421,006 (445,512)	459,334 《434,321》 (471,501)	75,679 (75,679)	510,000 (534,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)

5 広報活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

共同募金運動への理解を深めるために、運動初日である10月1日(水)の午前7時30分～8時15分に静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースにおいて、会長、県知事及び静岡市長等による街頭キャンペーンを実施した。運動開始のPRに重点を置き、当日は募金ボランティアとして、静岡英和女学院高等学校の生徒会役員4名、清水エスパルスのマスコットキャラクター「パルちゃん」と山室社長、ハヤテベンチャーズ静岡の選手3名が参加し、赤い羽根共同募金への協力を呼び掛けた。



(静岡駅北口駅前地下広場での街頭キャンペーン)

街頭キャンペーン募金実績	46,371円	(前年度:24,110円)
--------------	---------	---------------

② 29市町共同募金委員会においても、10月1日(水)の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金活動等を行い、延べ208か所(前年比84.6%)で実施した。

③ 「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布(または回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の約7割を活用している市町社会福祉協議会が行う「イチオシ事業」を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを地域住民に周知した。(“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト)

市町社協	イチオシ事業
下田市	「“赤い羽根”地域で育てる、笑顔の子育て」下田 Baby&Kids
伊東市	“赤い羽根”平時から命をつなぐ支援事業
熱海市	“赤い羽根”多世代食堂事業
伊豆市	“赤い羽根”福祉教育実践校事業
伊豆の国市	“赤い羽根”福祉活動拠点づくり助成金交付事業
三島市	“赤い羽根”地域福祉活動支援事業
沼津市	“赤い羽根”小学生福祉の職業体験事業
御殿場市	“赤い羽根”災害時支援ボランティア研修会事業
裾野市	“赤い羽根”まちづくり支援事業
富士宮市	“赤い羽根”地区社協が行う地域福祉事業
富士市	“赤い羽根”高齢者のためのふれあい・いきいきサロン事業



市町社協	イチオシ事業
静岡市	“赤い羽根”地区社協活性化事業立ち上げ助成事業
焼津市	“赤い羽根”地域ふれあいサロン普及・促進事業
藤枝市	“赤い羽根”大人のための福祉講座事業
島田市	“赤い羽根”まちなか保健室事業
牧之原市	“赤い羽根”福祉教育出前講座事業
御前崎市	“赤い羽根”小地域福祉活動助成事業
菊川市	“赤い羽根”地域福祉活動支援事業
掛川市	“赤い羽根”福祉なんでも相談会フードパントリー事業
袋井市	“赤い羽根”福祉教育実践校助成事業～ふれあい体験～
磐田市	“赤い羽根”ところに寄りそうサロン事業
浜松市	“赤い羽根”ふれあい交流会等開催事業『ワクワク福祉体験 in いとめ』
湖西市	“赤い羽根”福祉教育実践校事業
東伊豆町	“赤い羽根”高齢者のためのサロン助成事業～閉じこもり防止、生きがい・仲間づくり～
河津町	“赤い羽根”障害者社会参加事業
南伊豆町	“赤い羽根”寿大学事業
松崎町	“赤い羽根”居場所づくり事業
西伊豆町	“赤い羽根”シルバーリハビリ体操活動推進事業
函南町	“赤い羽根”福祉教育推進事業
清水町	“赤い羽根”児童育成支援事業
長泉町	“赤い羽根”地域福祉支援活動助成金交付事業
小山町	“赤い羽根”福祉車両貸出事業
吉田町	“赤い羽根”ひとり暮らし高齢者給食サービス事業
川根本町	“赤い羽根”小地域活動事業費助成事業(高齢者サロン・居場所活動に対する助成事業)
森町	“赤い羽根”高齢者ふれあいサロン補助金交付事業



(“赤い羽根”小学生福祉の職業体験事業(沼津市))



(“赤い羽根”まちなか保健室事業(島田市))

④ 「広報用動画」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

⑤ 各種資材を活用し、各世帯、企業、学校などへの広報活動を実施した。

	資材名	作成・購入数	備考
県共募作成	赤い羽根(シール・針)	1,253,200本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	11,550枚	各所掲出用(作成)
	若者向け壁新聞	2,600枚	各中学・高校掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	30,000枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	556,200枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	11,610枚	企業用(作成)
	全県版チラシ(A3)	3,100枚	一般用(作成)



	資材名	作成・購入数	備考
購入	課題解決プロジェクト募金団体チラシ(A4)	11,610枚	// (作成)
	課題解決プロジェクト募金参加団体一覧チラシ(A3)	3,100枚	// (作成)
	募金ボランティアバッジ	2,800個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	21,300枚	// (作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	1,900枚	// (作成)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	7,500枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	52,350枚	15商工会議所会報誌に同封(作成)
	静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	9,330枚	12商工会(作成)
	払込取扱票	18,100枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	28,910枚	市町共募領収書(作成)
静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	52,230枚	税控除用領収書(作成)	
中央共募作成	企業向パンフレット	1,882冊	企業用(購入)
	基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	546冊	一般用(購入)
	子ども向けパンフレット	577冊	学校用(購入)
	戸別募金ボランティア向パンフレット	420部	募金ボランティア用(購入)
	共同募金ハンドブック	1冊	一般用(購入)
	赤い羽根ブランドブック	76冊	// (購入)
	壁新聞(B2)	1,450枚	学校用(購入)
	学校募金ハンドブック(全国版)(12頁)	4,300冊	// (購入)
	子ども用ワッペン(ドラえもん)	14,090個	// (購入)
	子ども用クリアファイル(ドラえもん)	6,210枚	// (購入)
	募金バッジ	566個	寄付者用(購入)
	クリアファイル	270枚	// (購入)
	エコバッグ	53個	募金ボランティア用(購入)
	買い物バック	6枚	// (購入)
	ボールペン	2,195本	寄付者用(購入)
	募金箱用チラシ	181枚	一般用(購入)
	スタンド式募金箱	11個	// (購入)
	街頭肩掛募金箱	80個	街頭用(購入)
	卓上募金箱	68個	一般用(購入)
	職域募金箱	2,700個	// (購入)
	組立式募金箱(ドラえもん)	46,755個	学校用(購入)
	募金箱用鍵・錠	38個	一般用(購入)
	募金箱用チェーン	2,220本	// (購入)
	赤い羽根ビブス	5着	募金ボランティア用(購入)
	旗布	116枚	一般用(購入)
	赤い羽根ステッカー	200枚	寄付者用(購入)
赤い羽根協力店シール	111枚	// (購入)	
赤い羽根ネックストラップ	31本	// (購入)	
プレミアム赤い羽根バッジ	55個	// (購入)	

(2) 本会ホームページによる広報

本会ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

- ① 助成情報の周知(助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み)
- ② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
- ③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈、寄付に対する感謝状贈呈等を掲載
- ④ 赤い羽根共同募金を応援する学校や企業・団体等からいただいた「応援メッセージ」を、赤い羽根を手にした関係者の写真とともに掲載し、共同募金運動を盛り上げる機運を醸成
- ⑤ 課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額(随時更新)を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みを強化
- ⑥ 助成先のホームページに、本会ホームページへリンクする静岡県共同募金会のバナーをつけることを促し、本会ホームページの閲覧増加を促進



- ⑦ PayPayによる募金方法については、令和6年10月から始まったオンライン募金用のQRコードを掲載するとともに、令和7年10月から始まったオフライン募金用のQRコード設置場所を周知し、キャッシュレス社会に対応した共同募金をPR
- ⑧ 県内82か所に配置した災害ボランティア活動用機器の設置場所一覧で公開し、共同募金会が災害に備えた取り組みを平時から行っていることをPR
- ⑨ 遺贈・相続寄付に関するお知らせを行い、共同募金会を寄付先を選択していただくようPR
- ⑩ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
- ⑪ 中央共同募金会のホームページで新設された「全国ありがとうレポート」のコーナーに本県の助成先の動画を掲載し、本会ホームページにもリンクを設定して使いみちの見える化を促進



(おおつこども食堂(島田市))



(開発教育 FUNCLUB(静岡市))

(3) 健康福祉大会での広報

静岡県健康福祉大会の会場において、赤い羽根共同募金の使いみち等について展示を行い、大会参加者への周知を図った。

日程：令和7年11月21日(金)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」11階 会議ホール「風」
エントランス付近



(展示パネル)

(4) 報道機関による広報協力

- ① 8月19日(火)、25日(月)及び9月2日(火)に、会長が日本放送協会静岡放送局、民放テレビ局(4局)、新聞社(1社)の代表者を訪問し、アナウンサー等番組出演者による赤い羽根着用や、共同募金運動の報道、助成先への取材による使いみちの紹介などについて、直接広報協力の依頼を行い、以下のとおり、共同募金運動の開始や様々な使いみち等について報道された。

■テレビ・ラジオ報道(把握分)

放送局名	番組名	内容	放送日
日本放送協会 静岡放送局 (NHK)	県内ニュース	災害義援金受付	9/9
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
		NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/1
		NHK 歳末たすけあい実施告知	12/1~12/25
	たっぷり静岡	NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/1
		NHK 歳末たすけあい実施告知	12/16
ラジオ	NHK 歳末たすけあい実施告知	12/1~12/25	
静岡第一テレビ (SDT)	NNNストレイトニュース	赤い羽根夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/2
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
	まるごと+	使いみち紹介(ワークショップり〜ふ)	10/1
		社会貢献型自動販売機の設置(東海ガス株)	11/26
静岡放送 (SBS)	JNN ニュース	赤い羽根夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/5
		しずおか災害支援プロジェクト開始式(杏林堂・SUNTORY・共同募金)	8/7
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
	お買い物いいね! LIVE しずおか ゴゴボラケ(ラジオ)	使いみち紹介(あけぼの橋クラブ、福祉教育)	10/1
		社会貢献型自動販売機の設置(東海ガス株)	11/18
		寄付金贈呈(静岡英和女学院中学校・高等学校)	11/19
	地域歳末たすけあい募金	12/10	



放送局名	番組名	内容	放送日
静岡朝日テレビ (SATV)	県内ニュース	10/1 街頭キャンペーン	10/1
		使いみち紹介(多機能型まどい)	10/1
	とびっきりしずおか	赤い羽根夏休み子ども食堂支援セット贈呈式	8/1
		しずおか災害支援プロジェクト開始式(杏林堂・SUNTORY・共同募金)	8/4
	いろどりナビ	社会貢献型自動販売機の設置(東海ガス㈱)	11/16
テレビ静岡 (SUT)	チョット！いいタイム	赤い羽根夏休み子ども食堂支援セット贈呈式	8/20
		社会貢献型自動販売機の設置(東海ガス㈱)	11/22
	FNN Live News Days	10/1 街頭キャンペーン	10/1
ケーブルテレビ「トコチャン」	トコチャンニュース	10/1 街頭キャンペーン	10/2
FM 島田 (g-sky)	昼ドキ！聴かにゃ～RADIO	共同募金活用団体の紹介 (島田青年会議所)	9/24
		共同募金活用団体の紹介 (六合地区福祉の会)	10/22
		共同募金活用団体の紹介 (おおつこども食堂)	11/26
エフエム しみず静岡 (S-Wave)	Salut ! Salut !	課題解決プロジェクト募金の紹介 (県社会福祉協議会)	2/2
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (静岡いのちの電話)	2/4
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (静岡県ボランティア協会)	2/9
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (補助犬支援センター)	2/18
計		34件	

■新聞報道(把握分)

新聞名	内容	掲載日
静岡新聞 (18)	知事報告(4/16訪問)	4/17
	寄付金贈呈(㈱しずおかフィナンシャルグループ→本会)	4/18
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(県社協(南伊豆))	7/4
	赤い羽根夏休み子ども食堂支援セット贈呈式	8/2
	しずおか災害支援プロジェクト開始式(杏林堂・SUNTORY・本会)	8/5
	課題解決プロジェクト募金実施事業の紹介(湖西なるっパスクール)	8/28
	災害義援金受付予告	9/9
	10/1 街頭キャンペーン(本会)	10/2
	10/1 街頭キャンペーン(磐田市共同募金委員会)	10/2
	10/5街頭キャンペーン(浜松市共同募金委員会)	10/6
	社会貢献型自動販売機の設置(東海ガス㈱)	10/29
	寄付金贈呈(静岡英和女学院中学校・高等学校→本会)	11/20
	共同募金助成事業の紹介(しずおか言友会)	11/24
	台風第15号義援金贈呈(キラリ高等学校)	11/28
	寄付金贈呈(清水銀行→静岡市共同募金委員会)	12/9
	課題解決プロジェクト募金の開始告知	12/27
	課題解決プロジェクト募金の紹介(静岡県社会福祉協議会)	1/4
	寄付金贈呈(清水区シニアクラブ連合会→静岡市共同募金委員会)	1/27
朝日新聞 (1)	災害義援金受付	9/10
中日新聞 (3)	災害義援金受付	9/8
	台風第15号義援金贈呈(キラリ高等学校)	12/14
伊豆日日新聞 (2)	赤い羽根若者向けプロジェクト感謝状贈呈式(県立浜松江之島高等学校)	1/21
	夏の小学生福祉体験(伊豆の国市社会福祉協議会)	7/21
伊豆新聞 (12)	歳末たすけあい寄付金贈呈(函南ライオンズクラブ→函南町共同募金委員会)	12/18
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(県社協(南伊豆))	7/4
	災害義援金受付	9/23
	街頭募金(下田市共同募金委員会)	10/2
	街頭募金(伊東市ボランティア協会)	10/28



新聞名	内容	掲載日
(伊豆新聞)	街頭募金(下田市立朝日小学校)	11/1
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東駐車場組合→伊東市共同募金委員会)	11/21
	歳末たすけあい街頭募金(下田市共同募金委員会)	12/2
	歳末たすけあい寄付金贈呈(下田仏教会→下田市共同募金委員会)	12/5
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東仏教会→伊東市共同募金委員会)	12/13
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東市女性連盟→伊東市共同募金委員会)	12/20
	歳末たすけあい見舞金贈呈(下田市社会福祉協議会→市内3施設)	12/23
	歳末たすけあい寄付金贈呈(真如苑伊東道場→伊東市共同募金委員会)	12/23
伊豆毎日新聞 (9)	福祉施設機器整備事業(助成車両の納車・熱海ふれあい作業所)	11/26
	寄付金贈呈(熱海市立第一小学校→熱海市共同募金委員会)	12/5
	歳末たすけあい図書カード贈呈(熱海市社会福祉協議会→熱海市教育委員会)	12/11
	寄付金贈呈(熱海市立第二小学校→熱海市共同募金委員会)	12/20
	寄付金贈呈(熱海市立多賀小学校→熱海市共同募金委員会)	12/23
	歳末たすけあい寄付金贈呈(梅園町こども会→熱海市共同募金委員会)	12/26
	歳末たすけあい寄付金贈呈(熱海市仏教会→熱海市共同募金委員会)	12/25
	寄付金贈呈(熱海市立熱海中学校→熱海市共同募金委員会)	1/30
熱海新聞 (12)	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	2/3
	街頭募金(熱海市共同募金委員会)	10/31
	福祉施設機器整備事業(助成車両の納車・熱海ふれあい作業所)	11/27
	寄付金贈呈(熱海市立第一小学校→熱海市共同募金委員会)	12/2
	歳末たすけあい図書カード贈呈(熱海市社会福祉協議会→熱海市教育委員会)	12/10
	寄付金贈呈(熱海市立第二小学校→熱海市共同募金委員会)	12/19
	寄付金贈呈(熱海市立多賀小学校→熱海市共同募金委員会)	12/23
	歳末たすけあい寄付金贈呈(梅園町こども会→熱海市共同募金委員会)	12/24
	歳末たすけあい寄付金贈呈(熱海市仏教会→熱海市共同募金委員会)	12/25
	寄付金贈呈(熱海市立熱海中学校→熱海市共同募金委員会)	1/29
	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	2/3
	歳末たすけあい寄付金贈呈(玉伸会→熱海市共同募金委員会)	2/4
寄付金贈呈(熱海市立伊豆山小学校→熱海市共同募金委員会)	2/6	
計	57件	

② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民放テレビ4局、民放ラジオ1局、ケーブルTV10局、コミュニティFM8局、街頭大型ビジョン1)に提供し、報道協力を得た。

(5) 地元プロサッカークラブによる広報協力

① 赤い羽根共同募金運動啓発ポスターへの協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん&ジュビロくん)の写真提供を受け、全県版の独自ポスターを制作している。

令和7年度は、「やさしさ ひろげて」をキャッチコピーとして、ポスター11,550枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(電子掲示板)、清水銀行(80枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

② 赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンへの協力

<清水エスパルス>

10月1日(水)に本会が静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースで開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンにマスコットキャラクターのパルちゃんと山室社長が参加し、朝の通勤・通学者等に対して赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。

<ジュビロ磐田>

10月1日(水)に磐田市共同募金委員会が磐田駅前で開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンにマスコットキャラクターのジュビロくん、ジュビィちゃん、浜浦社長が参加し、朝の通勤・通学者等に対して赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。



(令和7年度ポスター)



③ ホームページ等での協力

<清水エスパルス>

・10月1日(水)に本会が主催した街頭キャンペーンへの参加内容と、10月25日(土)に静岡市共同募金委員会がIAIスタジアム日本平で実施した募金活動への参加内容を、11月7日(金)のニュースで併せて周知した。

<ジュビロ磐田>

・10月からの赤い羽根共同募金運動へのジュビロ磐田としての参加内容等を9月24日(水)のニュースで告知し、協力依頼の啓発を行った。
・10月1日(水)の磐田駅前で行った街頭募金に参加した内容を、10月2日(木)のブログで周知した。

(6) 地元プロ野球球団による広報協力

静岡県を拠点にする日本野球機構の「ファーム・リーグ 中地区」所属のハヤテベンチャーズ静岡が、社会貢献活動の一環として、赤い羽根共同募金に対して協力を行った。

① 赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンへの協力

10月1日(水)に本会が静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースで開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンにユニフォーム姿の選手3名(平尾柊翔外野手、篠原玲央外野手、笠島尚樹投手)が参加し、朝の通勤・通学者等に対して赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。



(10/1街頭キャンペーン)

② NHK歳末たすけあいオープニングセレモニーへの参加

12月1日(月)に日本放送協会静岡放送局(NHK)で開催した「NHK歳末たすけあいオープニングセレモニー」にユニフォーム姿の選手2名(高橋駿内野手、野里慶士郎投手)が参加して募金を行い、NHK歳末たすけあいの機運醸成に貢献した。

③ ホームページでの協力

10月1日(水)の街頭キャンペーン参加について、9月30日(火)に球団ホームページで事前告知を行い周知した。

(7) 静岡県による広報協力

① 県庁組織

ア 県知事と健康福祉部長が、10月1日(水)に静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースで本会が主催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンに参加し、朝の通勤・通学者に対して赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。

イ 県議会本会議場や委員会室等で、9月定例会及び12月定例会(一部職員は2月定例会も)の期間中、県知事以下出席職員が赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。(2月定例会でも一部職員が着用)

ウ 県庁にのぼり旗(西館、東館)を掲出し、募金箱(本館、東館)を設置した。また、県庁西館3階・5階、健康福祉センター(7箇所)にポスターを掲出した。

エ NHKと静岡放送の地デジ放送で、「県からのお知らせ」として文字情報により、赤い羽根共同募金運動の実施について周知を行った。(掲載期間:9月29日(月)~10月26日(日))

オ 広聴広報課所管のコミュニティFM番組「静岡県庁ふじっぴーNEWS」(静岡市、浜松市、伊豆市、伊豆の国市、伊東市、島田市、沼津市、三島市、富士市、御殿場市、函南町、清水町の各コミュニティFM局)で、赤い羽根共同募金運動の実施について、10月20日(月)に周知を行った。

カ 「しずおか県民だより」11月号1面下部のバナー欄において、赤い羽根共同募金の告知を行った。



(県民だより11月号に掲載されたバナー広告)

キ SBSラジオ「ゴゴボラケ」に福祉長寿政策課職員が12月10日(水)に出演し、地域歳末助けあい募金について周知を行った。

<参考:広報以外での県の協力>

・11月21日(金)にグランシップで開催された県健康福祉大会の会場で、福祉長寿政策課職員が大会参加者に対して募金活動を行い、赤い羽根共同募金への協力を求めた。



- ・ 10月からの一般募金と12月の NHK 歳末たすけあいにおいて、県組織全体(教育委員会及び公安委員会を含む)で職域募金による協力を行った。特に2月には福祉長寿政策課職員が県庁内各部局を巡回(静岡県共同募金会職員も同行)し、更なる募金への協力依頼活動を行った。

② 県議会

10月1日(水)(一部10月2日(木))には厚生委員会を始めとした各委員会室で、10月9日(木)には県議会本会議場で、多くの県議会議員が赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。

(8) “赤い羽根”若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 (4回目)

次代を担う若者に、赤い羽根共同募金運動を通じて福祉に関心をもってもらい、若者自らが「じぶんの町を良くするため」に、学校で学んだスキルを活かして共同募金運動に協力してもらうことを目的として、「“赤い羽根”若者向けプロジェクト」を実施した。

県立浜松工業高等学校デザイン科の2年生26名が令和6年度中にデザイン制作を行い、うち5作品を令和7年度の広報用資材に使用した。このうち、「若者向け壁新聞」は4月に県内の全中学校・高等学校へ配付し、「全県版チラシ」、「法人開拓用チラシ」、「市町版各戸配布用チラシ」、「ボランティア活動の手引き」は8月以降の周知活動等で使用した。



令和7年度若者向け壁新聞 (浜松工業高等学校)

また、今年度から「若者向け壁新聞」のデザインを、赤い羽根共同募金運動啓発ポスターでも使用した。

《歴代デザイン制作校》

令和4年度用デザイン	県立清水南高等学校 芸術科美術専攻 (2年生4名が参加)
令和5年度用デザイン	県立駿河総合高等学校 総合学科ビジュアルデザイン選択 (2年生49名が参加)
令和6年度用デザイン	県立伊豆伊東高等学校 普通科アートコース (3年生16名が参加)
令和7年度用デザイン	県立浜松工業高等学校 デザイン科 (2年生26名が参加)

※デザイン制作は使用する年度の前年度に行うため、生徒は制作当時の学年を表記

(9) NHK静岡放送局による広報協力

昨年度のNHK歳末たすけあいで助成を受けた施設から届いた感謝のお手紙を、今年度のNHK歳末たすけあいの実施期間に合わせて放送局のエントランスに展示し、来客者へのNHK歳末たすけあいへの理解や共感の醸成に努めた。

実施期間：令和7年12月4日(木)～12月25日(木)

場 所：NHK静岡放送局1階ハートプラザ

タイトル：「昨年度、助成先の皆さまから届いた感謝の気持ちを皆さまにお伝えします」



(NHK静岡放送局に設置された展示パネル)

(10) 遺贈寄付に関する関係機関への周知

中央共同募金会が作成する遺贈・相続寄付に関するパンフレットが最新版に改訂されたことを受け、遺贈・相続寄付希望者の相談窓口になる関係各所に対し、赤い羽根共同募金を相談者に提案していただけるよう、パンフレットを添えて依頼を行った。(令和7年10月1日付け通知)

依頼先	静岡県弁護士会	日本公認会計士協会	東海税理士会
	静岡県司法書士会	静岡県行政書士会	地方銀行
	信託銀行	都市銀行	信用金庫
	農業協同組合	農林中央金庫	公証役場



6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・福産品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。

また、参加団体が福祉課題の解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金(寄付先を選べるクラウドファンディング)、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品(募金百貨店)の提案、寄付物品の受け入れなどの新しい募金手法にも挑戦した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	312,493,000	297,200,063	95.2	▲22,240,313	93.1
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(3,360,000)	(10,968,474)	(326.5)	(3,985,223)	(157.1)



■募金方法別の分析

募金方法	対応	募金額 前年比		内容
戸別募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	97.5%	➡	自治会・町内会の協力により、ほぼ前年並となった
法人募金	・対面や振り込みによる寄付の推奨 ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼	98.3%	➡	民生委員等の協力により、ほぼ前年並となった
街頭募金	・駅、スーパー、繁華街等で運動を実施	95.9%	➡	地域ごとの積極的な取組により、ほぼ前年並となった
学校募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	86.3%	➡	寄付先を義援金に変更するなどの影響もあり、減少した
職域募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明	97.7%	➡	各職域への丁寧な説明などにより、ほぼ前年並となった

① 一般募金(令和7年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などによる円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合等に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事への報告及び協力依頼

令和6年度の募金・助成活動の報告、10月1日(水)からの令和7年度の運動への協力依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和7年4月16日(水)	・令和6年度の募金・助成活動の報告等 ・10/1街頭キャンペーンへの出席依頼	会長、常務理事、事務局長

イ 戸別募金増強に向けて 一自治会連合会へお礼と協力依頼一

月日	主催	会議名
令和7年6月27日(金) 令和8年2月27日(金)	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へお礼と協力依頼一

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和7年5月14日(水) 令和8年1月15日(木) 令和8年3月27日(金)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和7年5月15日(木)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会



月日	主催	会議名
令和7年5月27日(火)	静岡県民生委員児童委員協議会	総会
令和7年6月17日(火)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会
令和7年9月25日(水)	静岡県民生委員児童委員協議会(資料提供のみ)	法定地区会長研修会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和7年6月20日(金)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※1
令和7年6月25日(水)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※2
令和7年9月10日(水)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和7年9月11日(木)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※4
令和7年9月18日(木)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※5
令和7年9月19日(金)	(一財)静岡県生活衛生営業指導センター	訪問依頼※6

- ※1 静岡県商工会連合会会長及び各商工会会長の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼び掛けた。
- ※2 静岡県商工会議所連合会会長及び各商工会議所会頭の署名による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内15商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼び掛けた。
- ※3 静岡県共同募金会会長の署名による「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼び掛けた。
- ※4 「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を静岡県中小企業団体中央会のホームページに掲載し、会員に対しての共同募金への協力を呼び掛けた。
- ※5 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼び掛けた。また、静岡県建設業協会のホームページに、本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼、PayPay チラシ等を掲載した。
- ※6 静岡県生活衛生営業指導センターを通じて、傘下の各種業界団体事務局に対し、各支部・各組合員等に対しての赤い羽根共同募金運動への協力を依頼した。

■金融機関

月日	対象	内容
令和7年8月20日(水)、21日(木)、27日(水)	県内地方銀行3行 静岡県労働金庫 県信用農業協同組合連合会	・職域募金 ・手数料免除 ・社会貢献型自動販売機設置依頼
令和7年9月8日(月)	県民共済生活協同組合	・職域募金

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(募金箱・職域募金、自動販売機を含む)

依頼先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	110	10月~3月	33,396	
静岡県庁	532	10月~3月	1,509,785	一般募金 1,153,151円 NHK歳末 356,634円
(株)サンコートラベル	1	年間	30	県庁内
静岡県教育会館	1	年間	2,091	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	110	10月~3月	52,835	
静岡県内の郵便局	301	10月~1月	233,109	
(株)エスパルス(S-PULSE STORE 他)	1	10月~3月	560	
	10	年間	76,554	
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	10月~12月	105,632	
富士山静岡空港 免税店	1	年間	8,341	
全日本空輸(株)静岡空港所	1	年間	—	
(株)しずおかフィナンシャルグループ各社	97	10月~11月、3月	852,851	
(株)静岡銀行	124	10月~11月	406,503	
	144	年間	928,616	



依頼先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
静岡鉄道(株)(静鉄ホテルプレジオ)	2	年間	3,668	
	1	年間	1,103	
静岡県中小企業団体中央会	1	10月~12月	6,341	
(一社)静岡県医師会	1	10月~12月	10,000	
(株)エンチョー	52	10月~12月	201,787	県内 179,167円 県外 22,620円
	1	年間	16,668	
(株)オークワ	2	8月~1月	70,342	
(株)静鉄ストア	30	10月~12月	107,572	
(株)遠鉄ストア	35	10月~12月	60,000	
(株)ヒバリヤ	6	10月~12月	18,843	
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	32	10月~12月	99,707	
(株)ユーマート	1	年間	18,583	
生活協同組合ユーコープ	1	12月	3,134,147	書き損じハガキ寄付活動 3,049,401円 他
沓間水産(株)(沼津魚がし鮓)	20	10月~12月	119,432	
静岡県麺類業生活衛生同業組合	12	10月~12月	1,250	
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	9	10月~12月	—	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	1	10月~12月	2,092	
静岡県船商生活衛生同業組合	1	10月~12月	13,560	
静岡県理容生活衛生同業組合	26	10月~12月	4,100	
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月~12月	2,000	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	1	10月~12月	—	
静岡県書店商業組合	11	年間	3,891	
(株)戸田書店	4	年間	12,503	
(株)谷島屋	18	年間	23,172	
(株)江崎書店	3	年間	—	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	—	
計(36)	1,711		8,141,064	
前年度(36)	2,133		8,234,832	

※二段書き:上段は募金箱・職域募金、下段は自動販売機

オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など5種類の募金箱49,914個(前年度47,206個)を、市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック1,530冊を県内の小学校・中学校・高等学校に配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。

月日	組織	会議名・対象
令和7年4月上旬	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長の会合(政令市含む)
令和7年6月3日(火)	静岡県高等学校長協会	理事会
令和7年10月6日(月)	静岡県私学協会	会員校理事長・校長会
学校募金ハンドブックの配付を依頼	静岡市教育委員会	市立小、中学校
	浜松市教育委員会	市立小、中学校
	静岡県教育委員会	公立小、中学校(政令市除く)
		公立高等学校、特別支援学校(市立高含む)
静岡県私学協会	私立中学校、高等学校	

② 課題解決プロジェクト募金(令和8年1月1日~3月31日)(平成25年度から13回目)

課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費2.5%、クレジットカード手数料3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。



No	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	“赤い羽根”あなたが支える移動支援サービス事業	520,000	78	347,000	337,755
2	社会福祉法人 静岡いのちの電話	“赤い羽根”「一人で悩まないで」ポスター作成事業	191,000	29	217,600	212,130
3	社会福祉法人 浜松いのちの電話	“赤い羽根”若者のこころの支援(学生専用フリーダイヤル)事業	308,000	29	255,272	247,511
4	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	“赤い羽根”児童養護施設等退所児童への就学等支援事業	1,026,000	42	8,742,024	8,522,274
5	特定非営利活動法人 湖西なろっパスクール	“赤い羽根”次代を担う自立した心豊かな青少年を育成する事業	411,000	120	335,500	326,693
6	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	“赤い羽根”身体障害者補助犬応援事業	452,000	61	522,207	509,152
7	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	“赤い羽根”若者と学ぶ共生社会づくり事業	452,000	79	548,871	534,760
計 (7)			3,360,000	438	10,968,474	10,690,275
前年度(9)			3,856,000	565	6,983,251	6,802,271

(詳細は別冊統計資料 26ページ)

(2) 地域歳末たすけあい募金(令和7年12月1日～12月31日)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	176,538,000	165,308,979	93.7	▲3,997,267	97.7

(3) NHK歳末たすけあい(令和7年12月1日～12月25日)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が主催し、県内では生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために75回目の募金活動を行った。

- ① 日本放送協会静岡放送局は、テレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 12月1日(月)には、静岡精華幼稚園・ハヤテベンチャーズ静岡の協力を得て、日本放送協会静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに募金受付窓口オープニングセレモニーを日本放送協会静岡放送局で行った。



(オープニングセレモニーの様子)



区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	20,969,000	17,475,545	83.4	1,678,234	110.7

■受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会	780	13,111,297	県下各郵便局、信用金庫ほか		
日本放送協会静岡放送局	62	602,751			
静岡県共同募金会	247	3,761,497	地方銀行3行扱い	17	3,233,445
			農協扱い	11	160,418
			漁協扱い	1	10,000
			事務局扱い 他	218	357,634
県内窓口	309	4,364,248			
計	1,089	17,475,545			
前年度	1,228	15,797,311			

7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される社会貢献型自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アシード(株)	1	10,771
(株)アペックス	2	37,774
(株)伊藤園	32	1,000,315
(株)エムシーフードサービス	1	42,000
(株)エル・アイ・ビバレッジ (アサヒ飲料(株))	1	2,926
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	66	414,006
サントリービバレッジソリューション(株)	48	215,673
(株)葉堂	1	1,355
静岡塩業(株)	12	41,208
信濃商事(株)	1	1,698
清水総合メンテナンス(株)	7	7,100
(有)杉山飲料	2	17,562
ダイドーアサヒベンディング(株) (アサヒ飲料(株))	3	28,307
ダイドードリンコ(株)	170	1,404,227
中央静岡ヤクルト販売(株)	6	14,006
東海ビバレッジサービス(株)	78	758,301
東京キリンビバレッジ(株)	1	3,570
ナショナル・ベンディング(株)	6	18,906
西静岡ヤクルト販売(株)	1	7,532
(特非)ハートフル福祉募金	11	301,636
浜名湖電装(株)	2	2,252
(株)富士テレネット	16	4,698
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	4	18,110
ユニヴァーサル商事(株)	21	113,397
計	493	4,467,330
前年度	502	4,056,943

※設置台数は、令和8年3月31日現在

(設置先別台数一覧は別冊統計資料 13ページ)



(2) 物品による寄付

夏休みのこどもの食支援のための食品、祝慶事の胡蝶蘭などの物品を、共同募金に寄付として積極的に受け入れ、その物品を社会福祉施設等に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	11,113	1,523,182
	(株)レント	鉢植(胡蝶蘭)・造花	43	1,320,000
	スター精密(株)	鉢植(胡蝶蘭)	2	60,000
	静岡銀行(株)	鉢植(胡蝶蘭)・生花	12	335,460
	スター精密(株)	鉢植(胡蝶蘭)	2	60,000
計		5件	11,172	3,298,642
前年度		7件	10,413	2,627,270

(助成一覧は別冊統計資料 24～25ページ)

(3) 寄付つき商品による寄付(募金百貨店プロジェクト)

募金百貨店は、静岡県共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。

募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。

■ 令和7年度登録商品:1

第1号 (しずおか災害支援プロジェクト)	
登録企業	(株)杏林堂薬局、サントリー(株)、サントリーフーズ(株)
登録商品	静岡県内の杏林堂薬局店舗で販売するサントリーグループの一部商品
寄付割合	売上商品1つにつき2円を寄付(杏林堂1円、サントリーグループ1円)
寄付金額	347,962円
寄付先	一般募金
販売期間	令和7年8月5日(火)～9月1日(月)
販売場所	静岡県内の杏林堂薬局店舗(一部店舗を除く)

【杏林堂薬局×SUNTORY×赤い羽根共同募金 しずおか災害支援プロジェクト】

① 概要

(株)杏林堂薬局の創立125周年を記念して、同社とサントリーグループが協力した地域貢献活動として、令和7年8月5日(火)～9月1日(月)に杏林堂薬局各店舗で販売するサントリー商品の売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄付し、災害ボランティアセンターへの助成など、共同募金会が行う災害関連の助成に役立てることを目的としたプロジェクトを実施した。



② 同プロジェクトの開始式

販売開始の前日にプロジェクト参加4者による開始式を開催。参加宣言書に署名を行い、マスコミを通じて活動を周知した。

日時: 令和7年8月4日(月) 11時
 場所: (株)杏林堂薬局本社応接室(浜松市)
 参加者: (株)杏林堂薬局
 サントリー(株)
 サントリーフーズ(株)
 静岡県共同募金会



(開始式の様子)



■令和7年度登録商品:2

第2号	
登録企業	(株)ジュビロ
登録商品	実店舗で販売する全商品
寄付割合	売上金の一部を寄付
寄付金額	22,173円
寄付先	一般募金
販売期間	令和7年10月1日(水)~10月31日(金)
販売場所	ジュビロショップ磐田、ジュビロショップサーラプラザ浜松

(4) ネット募金

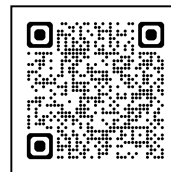
中央共同募金会のオンライン寄付サイト「ふるさとサポート募金」から様々な方法(クレジットカード、PayPay、コンビニ、ペイジー等)によりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。また、中央共同募金会では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト (ふるさとサポート募金)	クレジットほか	38	807,000
		PayPay	208	132,914
計			246	939,914
前年度			180	797,245

スマホからも、
募金できます♪



《PayPay オンライン寄付用 QR コード(本会分)》



(記名寄付用)



(匿名寄付用)

(5) 「PayPay」アプリによるオフライン寄付

令和7年10月1日から可能となった「PayPay」アプリによる共同募金へのオフライン寄付について、対面での寄付が可能な街頭キャンペーン、社会福祉大会、職域募金などで取り組んだ。

募金種別	募金の種類	件数	寄付額(円)
一般募金	「PayPay」アプリによるオフライン寄付	123	80,453

(6) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分)

全国の法人から中央共同募金会に寄せられた募金実績

寄付者	件数	寄付額(円)
東京海上日動火災保険(株) 住まいの保険×赤い羽根 防災・減災プログラム	1	948,691
「三菱電機株」SOCIO-ROOTS 基金	1	516,122
(一財)篠原欣子記念財団	1	425,532
(一財)ニチレイ MIRAIterrace 財団	1	150,000
(株)ゆうちょ銀行 株主優待カタログギフト	1	110,384
(一財)ニチレイ MIRAIterrace 財団	1	150,000
その他	29	576,072
計	35	2,576,801
前年度	59	21,566,401



第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、1月に配分委員会委員による実地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て3月13日(金)の理事会で次のとおり決定し助成した。(令和8年5月15日ホームページで公告 ※課題解決プロジェクト募金助成決定が4月17日(金)のため) 助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和7年度共同募金による助成

令和7年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成(7年度及び8年度実施事業)を行った。

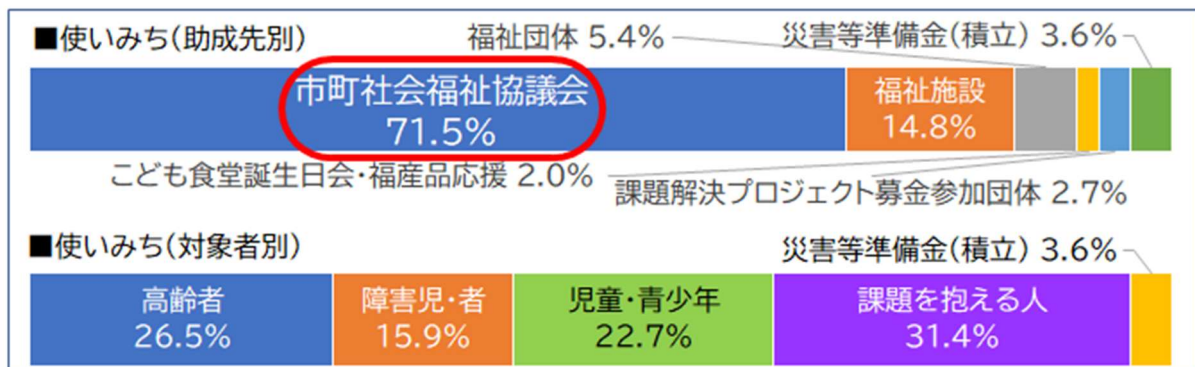
(単位:円)

区分	助成種別	助成先	件数	7年度実施事業助成額	8年度実施事業助成額	計	
一般募金	地域助成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	124,198,433	124,198,433
		小計		35	0	124,198,433	124,198,433
	広域助成枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会(機器整備)	2	0	1,949,000	1,949,000
			広域福祉活動団体	13	0	20,300,000	20,300,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設	27	0	36,734,000	36,734,000
		こども食堂誕生日会・福産品応援事業	障害者就労支援団体	2	0	8,000,000	8,000,000
		災害等準備金	(積立)	—	0	14,250,000	14,250,000
		物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	27	3,298,642	0	3,298,642
	小計		71	3,298,642	81,233,000	84,531,642	
	課題解決プロジェクト募金	参加団体	7	0	10,690,275	10,690,275	
計		113	3,298,642	216,121,708	219,420,350		
地域歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	34	133,129,974	0	133,129,974	
	地域福祉活動支援事業(翌年度分)	市町社会福祉協議会	(31)	0	27,345,958	27,345,958	
計		34	133,129,974	27,345,958	160,475,932		
NHK歳末たすけあい	年末年始支援活動助成	福祉活動団体	15	1,300,000	0	1,300,000	
	年末年始施設利用者支援助成	児童福祉施設、更生施設他	45	12,352,000	0	12,352,000	
	就職等自立支援助成	児童養護施設協議会、里親連合会	2	0	7,056,000	7,056,000	
計		62	13,652,000	7,056,000	20,708,000		
合計			209	150,080,616	250,523,666	400,604,282	
前年度			246	154,607,118	269,631,307	424,238,425	

【助成財源】

①令和7年度共同募金 ②災害等準備金取崩金(令和3年度積立)15,100,000円

件数欄の()書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数



(詳細は別冊統計資料 14～30 ページ)



2 緊急等助成資金による助成

緊急等助成資金規程に基づき、緊急等助成資金を取り崩して、次の助成を行った。

■緊急等助成資金の状況

(単位:円)

前年度末残高	当年度取崩額	当年度積立額	当年度末残高
157,937,405	3,542,555	20,000,000	174,394,850

(1) 災害見舞金

①令和7年8月16日大雨災害の被災者に対して、災害等緊急助成実施要領第2条第2項(1)及び災害見舞金贈呈要領に基づき、1世帯に5,000円の災害見舞金を贈呈した。

ア. 浜松市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
高齢者	89歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
計			1世帯		5,000

②令和7年台風第15号災害の被災者に対して、災害等緊急助成実施要領第2条第2項(1)及び災害見舞金贈呈要領に基づき、11世帯に65,000円の災害見舞金を贈呈した。

イ. 掛川市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
高齢者のみ	84歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
	79歳	自営業	1世帯	床上浸水	5,000
計			2世帯		10,000

ウ. 牧之原市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
ひとり暮らし高齢者	91歳	無職	1世帯	全壊	10,000
高齢者のみ	88歳	技師	1世帯		10,000
ひとり暮らし高齢者	78~87歳	無職	4世帯	半壊	25,000
	73歳	建築業	1世帯		
高齢者のみ	78~80歳	無職	2世帯		10,000
計			9世帯		55,000

イ~ウ合計	11世帯		65,000
-------	------	--	--------

災害見舞金 ①~②合計	12世帯		70,000
-------------	------	--	--------

(2) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
牧之原市社会福祉協議会 ほか	災害活動用機器 収納庫	5件	3,472,555
前年度		3件	2,499,620

(助成一覧は別冊統計資料 31~32ページ)



3 “赤い羽根”夏休み子ども食堂支援セット助成事業

一般社団法人静岡缶詰協会及び正会員17社と協力団体から、本会に食品等(缶詰・飲料等)の寄付があり、「学校給食の無い夏休みの子どもたちを支援したい」という意向を受け、「赤い羽根”夏休み子ども食堂支援セット助成事業実施要領」に基づき応募があった子ども食堂を通じて、子どもの食支援助成を行った。なお、この事業は令和3年度から始まり、今回が5回目となる。

(1) 寄付の状況

寄付の種類	寄付者《寄付内容》	寄付額
食品寄付	(一社)静岡缶詰協会 正会員17社 《缶詰・デザート・飲料等11,113個(427ケース)、入荷送料含む》	1,363,722円
借上料寄付	(一社)静岡缶詰協会《物流倉庫借用料》	55,000円
配送費寄付 (※)	静岡キワニスクラブ《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
	カンナの会《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
合計		1,618,722円

※配送費寄付については200,000円の寄付を受けているが、統計資料の物品寄付額は物流倉庫から各社協への送料実費を食品寄付額等に加えて計上しているため、上記合計額1,618,722円とは一致しない。

(2) 助成先

子ども食堂	16か所(9市町) ※応募多数のため抽選
対象者数	約1,000名(主に小・中学生)
引渡し日	令和7年8月1日(金)
引渡し方法	子ども食堂所在地の市町社会福祉協議会に送られた食品を、子ども食堂の担当者が指定日に市町社会福祉協議会へ直接受け取りに行く方法

(助成一覧は別冊統計資料 24ページ)

(3) 贈呈式

実施日	令和7年8月1日(金)
会場	静岡県総合社会福祉会館 5階集会室
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブから、本会及び子ども食堂代表の「おおつ子ども食堂」に対して目録を贈呈 ・本会から(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブへ感謝状を贈呈 ・記念撮影 (※カンナの会は欠席)



4 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

市町社会福祉協議会(抽出で6市)について、配分委員会委員が実地調査で事務局を訪問し、助成事業の実施状況を調査した結果、以下の指導を行った社協はあるものの、概ね妥当な状況であった。

- ① 赤い羽根共同募金と社会福祉協議会は地域福祉における車の両輪にも例えられることから、赤い羽根共同募金の助成を受けて社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業を「共同募金の使いみち」として地域住民の方々にはしっかり知っていただくことが重要であるため、地域福祉活動計画、事業計画書、事業報告書等、対外的に公開する公式書類の中に赤い羽根共同募金に関する記述を項目立てして明記するよう指導した。
- ② 二次助成を公募で行う場合には、社協事務局等の内部での選定ではなく、第三者委員会など外部の委員による審査委員会を設置し、審査の過程に透明性や公平性の確保を図るよう指導した。

また、上記配分委員会委員調査と同時並行で、令和5年度に発生した小山町社会福祉協議会元職員による不祥事案件を踏まえ、市町社会福祉協議会(共同募金関係)及び市町共同募金委員会に対して実地調査を行い、会計処理及び助成事業等について現状把握を行うとともに、不適切な取り扱いがある場合には是正指導を行った。



調査日	実地調査対象市町社会福祉協議会・共同募金委員会	
令和8年1月30日(金)	三島市	沼津市
令和8年2月 3日(火)	小山町	函南町
令和8年2月 6日(金)	森町	藤枝市

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ② 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査を行ったが、概ね適正に実施されていた。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業実施年度	助成区分	件数	助成金額(千円)	指摘・指導事項
令和5年度	令和6年度	福祉施設 機器整備	4	12,000	文書指摘2件(経理規程、契約事務) 文書指導2件(完了検査、決裁書類)

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

福祉サービスを必要とする支援対象者に対して、相談活動や孤立防止活動など、多様な支援効果が見られた。

(4) 子ども食堂誕生日会・福産品応援事業

福産品の販路拡大と、こども食堂を利用するこどもたちが楽しみを分かち合う機会を作ることを目的に、障害者就労継続支援事業所等がつくるケーキ・焼き菓子等や野菜等農作物を、こども食堂の誕生日イベントに無償で提供する活動に助成するもので、概ね申請の目的が達成されていた。

(助成一覧は別冊統計資料 23ページ)



第3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

■令和7年度の準備金状況(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残高
59,080,000	24,805,341	14,250,000	48,524,659
【内訳】(単位:千円) R3積立 15,100,000 R4積立 14,880,000 R5積立 14,420,000 R6積立 14,680,000	【内訳】 ・R4積立分の取崩 9,705,341 ①令和6年能登半島地震への追加拠出分 1,460,000 ②令和7年台風第15号災害で牧之原市、吉田町、県の各社会福祉協議会へ助成 8,245,341 ・R3積立分の取崩(3年経過) 15,100,000	【内訳】 ・R7積立分 R7募金総額の3% 14,250,000	【内訳】 R4積立 5,174,659 R5積立 14,420,000 R6積立 14,680,000 R7積立 14,250,000

(1) 災害等準備金のうち令和4年度積立分から令和7年台風第15号災害に下記のとおり助成した。

助成先	当初助成額(円)	助成精算額(円)	用途	助成日
牧之原市社会福祉協議会	3,000,000	3,000,000 (事業継続中のため未精算)	災害ボランティアセンターの運営費 (車両・活動用資材等借上料、事務機器等借上料、活動用資材購入費ほか)	令和7年9月11日
吉田町社会福祉協議会	3,000,000	2,404,912		令和7年9月16日
静岡県社会福祉協議会	3,000,000	2,840,429		令和7年9月19日
計	9,000,000	8,245,341		



(牧之原市)



(吉田町)

(2) 災害等準備金のうち令和4年度積立分から令和6年能登半島地震への追加拠出を行った。

拠出年度	拠出金額(円)	累計拠出額(円)	拠出先
令和5年度(当初拠出)	10,128,716	11,588,716	石川県共同募金会 (中央共同募金会経由で拠出)
【今回】令和7年度(追加拠出)	1,460,000		

(3) 災害等準備金のうち積立後3年が経過した令和3年度積立分15,100,000円は取崩し、令和7年度助成財源とした。

(4) 年度末には、令和7年度分として14,250,000円を新たに積み立てた。



2 災害義援金の状況

(1) 静岡県の災害義援金

令和7年9月5日に静岡県に接近した台風第15号により、県内各地で竜巻・突風、浸水被害が発生し、10市町に災害救助法が適用された。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。寄せられた義援金は、県から市町を通じて被災者へ配分された。

① 概要

名 称	令和7年台風第15号災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和7年9月9日(火)～令和7年12月8日(月)
受付実施団体	静岡県、社会福祉法人静岡県共同募金会及び日本赤十字社静岡県支部
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関(静岡県を除く)の窓口 (※義援金のみ受け入れとし、救援物資・物品は受け入れしない)

② 受付状況

受付実施団体	受付金額	受付件数
静岡県	132,215,264円	946件
(福)静岡県共同募金会	20,811,394円	956件
日本赤十字社静岡県支部	108,747,980円	587件
合 計	261,774,638円	2,489件

③ 配分状況

上記受付金額261,774,638円について、以下のとおり配分を決定した。

ア 令和7年台風第15号災害静岡県義援金募集・配分委員会の概要

開催回数 及び 配分金額	第1回 令和7年9月8日開催(書面審議)	—
	第2回 令和7年11月14日開催(書面審議)	決定配分金額: 68,322,000円
	第3回 令和8年2月19日開催	決定配分金額: 193,452,638円
配分方法	公平・適切な配分のため委員会にて配分基準等を定め、市町を通じて配分する。	
委員会の 構成団体	静岡県市長会町村会総合事務局、(福)静岡県社会福祉協議会、 (福)静岡県共同募金会、日本赤十字社静岡県支部、日本放送協会静岡放送局、 公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡県	

イ 配分結果(12市町)

○被災区分及び配分単価

被災区分	配分 対象数 (人・世帯) 計 2,398	配分単価(円)		
		第1回	第2回	合計
死者	1	126,000	330,688	456,688
重傷者	17	63,000	165,100	228,100
軽傷者	22	3,000	8,255	11,255
全壊	76	126,000	330,200	456,200
大規模半壊	51	94,000	247,650	341,650
中規模半壊	82	79,000	206,375	285,375
半壊	189	63,000	165,100	228,100
準半壊	362	31,000	82,550	113,550
一部損壊(床下浸水を除く)	1,422	18,000	49,530	67,530
床下浸水	176	—	8,255	8,255

○市町別配分額

対象市町	配分 対象数 (人・世帯)	第1回配分額(円)	第2回配分額(円)	配分総額(円)
伊東市	21	461,000	1,381,565	1,842,565
静岡市	57	775,000	2,581,520	3,356,520
焼津市	229	4,068,000	11,804,805	15,872,805
藤枝市	63	1,019,000	3,376,980	4,395,980
島田市	41	139,000	660,400	799,400



対象市町	配分対象数 (人・世帯)	第1回配分額(円)	第2回配分額(円)	配分総額(円)
牧之原市	1,367	50,575,000	138,613,535	189,188,535
吉田町	432	8,624,000	28,167,768	36,791,768
掛川市	51	751,000	2,171,065	2,922,065
御前崎市	22	436,000	1,416,820	1,852,820
菊川市	113	1,474,000	3,258,670	4,732,670
磐田市	1	0	8,255	8,255
浜松市	1	0	11,255	11,255
合計	2,398	68,322,000	193,452,638	261,774,638

④ 募集・配分委員会の受付終了後の取り扱い

令和7年台風第15号災害静岡県義援金募集・配分委員会の募集・配分終了後に受け付けた義援金を、被災自治体(牧之原市)へ送金した。

(福)静岡県共同募金会受付	受付金額	受付件数
受付期間中	20,811,394円	956件
受付終了後	300,000円	1件
合計	21,111,394円	957件

(2) 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会等に周知した。 9件

(3) 令和6年1月1日(月)に北陸地方で発生した能登半島地震及び令和6年9月21日(土)の大雨に伴い発生した能登豪雨に係る災害義援金を受け付け、各募集共同募金会へ送付した。

義援金の名称	募集共同募金会	件数	金額(円)
令和6年能登半島地震災害義援金	中央共同募金会	3件	31,566
令和6年能登豪雨災害義援金	石川県共同募金会	3件	31,563
計		6件	63,129

3 災害時業務支援資金

災害時に行う臨時業務のうち、災害義援金の受付及び災害等準備金による災害支援制度の実施に伴う事務的経費として、中央共同募金会から「災害時業務支援資金」の交付を受けた。

	項目	基準額	件数	金額
災害義援金の受付業務	(1)義援金の受付	30円	956件	28,680円
	(2)現金書留による受付	200円	—	—
	(3)領収書発行	200円	31件	6,200円
災害等準備金による災害支援制度に係る業務	災害等準備金の送金回数	11,000円	3件	33,000円
合計				67,880円

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(受託事務費205,000円)

施設名	所在地	助成額(円)	用途指定内容
けるん(就労継続支援B型)	三島市	1,520,000	送迎用車両購入
ほいっぷ(放課後等デイサービス)	静岡市	1,400,000	送迎用車両購入
居処どこでも(就労継続支援B型)	御前崎市	1,500,000	作業用車両購入
森のいえはまきた(幼保連携型認定こども園)	浜松市	960,000	1階園児用トイレ外壁工事
あかね(共同生活援助)	浜松市	580,000	フェンス設置工事
計(5)		5,960,000	
前年度(3)		5,960,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望す



る施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(受託事務費45,000円)

施設・団体名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
多賀こども園	熱海市	4,000,000	屋上防水改修工事
計 (1)		4,000,000	
前年度 (1)		3,940,000	

5 顕彰活動

(1) 令和7年度全国社会福祉大会における表彰

令和7年11月12日(水)、浅草公会堂(東京都台東区)において、令和7年度全国社会福祉大会が開催され、本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1団体	20年以上	

② 中央共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	2名	10年以上	
優良地区・団体	2団体	10年以上	

(2) 令和7年度静岡県健康福祉大会における表彰

令和7年11月21日(金)、グランシップ(静岡市駿河区)において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和7年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。(共同募金会会長表彰の代表受領者は個人1、団体1)

① 静岡県知事褒賞

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	1団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	3名	3年以上	
募金ボランティア団体	12団体	//	



(知事褒賞代表受領)



(会長表彰代表受領・個人)

(3) その他の顕彰

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	1件	個人100万円以上 団体300万円以上	団体1件
中央共同募金会会長感謝楯	3件	個人 50 万円以上 団体 100 万円以上	個人1件、団体2件
中央共同募金会会長感謝状	5件	個人20万円以上 団体60万円以上	個人4件、団体1件
静岡県共同募金会会長感謝状	140件	5万円以上	



第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第310回】 令和7年5月16日(金) 静岡県総合社会福祉会館 1階101会議室 (定足数) 総数11名(定員9~11名) 出席者10名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和6年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 (2)共同募金以外の指定寄付金の助成について (3)知事報告について (4)実地監査結果の報告について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の推薦の提案について 第2号議案 次期評議員候補者の推薦の提案について 第3号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第4号議案 配分委員会委員の追加選任について 第5号議案 次期理事候補者の推薦の提案について 第6号議案 次期監事候補者の推薦の提案について 第7号議案 定時評議員会の招集について 第8号議案 令和6年度事業報告の承認について 第9号議案 令和6年度計算関係書類及び財産目録の承認について 第10号議案 令和7年度共同募金(一般募金)広域目標額(市町共募扱い)について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【第311回】 令和7年6月9日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9~11名) 出席者8名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1) 評議員の選任について (2) 第180回評議員会(令和7年度定時評議員会)の結果について 【決議事項】 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について	会長 柴田 久 副会長 清野文雄 副会長 岩倉陸弘 副会長 中村直保 常務理事 影島秀明
【第312回】(決議の省略) 令和7年7月11日(金) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和7年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 (3)市町共同募金委員会監事監査における出納業務の緊急調査の結果について (4)外部監査契約の継続について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について 第3号議案 理事候補者(補欠)の推薦の提案及び評議員会の招集について 第4号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第5号議案 令和7年度(第75回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第6号議案 令和7年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第7号議案 令和7年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決



開催時期・会場	審議事項	備考
【第313回】(決議の省略) 令和7年12月11日(木) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 監事候補者(補欠)の提案及び評議員会の招集について	・原案どおり可決
【第314回】(決議の省略) 令和8年1月16日(金) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第315回】(決議の省略) 令和8年2月10日(火) 総数11名(定員9~11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事候補者(補欠)の推薦の提案及び評議員会の招集について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第316回】 令和8年3月13日(金) 静岡県総合社会福祉会館 1階101会議室 (定足数) 総数11名(定員9~11名) 出席者8名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について(再報告) (2)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (3)令和7年度共同募金運動の状況について (4)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和7年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和7年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③災害による罹災者(低所得者等)に対する見舞金の助成措置 ④1件 1000万円未満の契約 ⑤職員給与規程施行細則の一部改正 (5)令和7年台風第15号災害に基づく災害義援金について 【決議事項】 第1号議案 副会長の選定について 第2号議案 令和7年度共同募金(一般募金)による助成について 第3号議案 令和7年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第4号議案 令和7年度(第75回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第5号議案 令和7年度緊急等助成資金による助成及び積立について 第6号議案 令和7年度資金収支補正予算について 第7号議案 役員等賠償責任保険の契約について 第8号議案 令和8年度助成要綱の制定について 第9号議案 災害等準備金(令和4年度積立分)の取崩について 第10号議案 諸規程の改正について (1)嘱託員の身分等取扱規程の一部改正 第11号議案 令和8年度事業計画について 第12号議案 令和8年度資金収支予算について	副会長 杉山 茂 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第180回(定時)】 令和7年6月9日(月) 静岡県総合社会福祉会館 7階703会議室 (定足数) 総数14名(定員12~14名) 出席者13名 ※会長、常務理事出席 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)令和6年度事業報告について (2)監督官庁が実施した検査等の結果について 【決議事項】 第1号議案 令和6年度計算関係書類及び財産目録の承認について 第2号議案 理事11名の選任について 第3号議案 監事2名の選任について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決



開催時期・会場	審議事項	備考
【第181回】(決議の省略) 令和7年7月23日(水) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり可決
【第182回】(決議の省略) 令和7年12月25日(木) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 監事の補欠選任について	・原案どおり可決
【第183回】(決議の省略) 令和8年2月25日(水) 総数14名(定員12~14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり可決

3 監事監査

開催時期・会場	監査事項	備考
令和7年5月8日(木) 静岡県総合社会福祉会館 1階104会議室 監事2名出席(定員2名)	1 令和6年度の理事の職務の執行の監査 2 令和6年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査報告書」は令和7年6月9日受理	事業の適正・計算関係書類及び財産目録の適正が認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第17回】 令和7年5月16日(金) 静岡県総合社会福祉会館 1階101会議室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者4名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について 第2号議案 次期評議員の選任について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【第18回】 令和7年7月15日(火) 静岡県総合社会福祉会館 104会議室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第70回】 令和7年6月30日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数12名(定員13名) 出席者10名 ※総数が12名なのは、NHK静岡放送局長辞任後の補欠選任が済んでいないため	【報告事項】 (1)令和6年度共同募金運動の実績について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和6年度課題解決プロジェクト募金による助成措置 (3)実地監査結果の報告について 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 令和7年度(第75回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第3号議案 令和7年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第4号議案 助成要綱に定める本会が特に認めたものに関する内規の一部改正について 第5号議案 令和7年度共同募金の助成計画について	委員長 清野文雄 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認



開催時期・会場	審議事項	備考
	第6号議案 令和7年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	・原案どおり承認
【実地調査】 令和8年1月14日(水)から 令和8年2月6日(金)まで (延べ9日間)	配分委員13名により、令和7年度共同募金による助成事業に申請があった施設、グループ、団体(市町社協を含む)の実地調査を実施した。	
【第71回】 令和8年3月2日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者10名	【報告事項】 (1)令和7年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和7年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和7年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 【審議事項】 第1号議案 令和7年度共同募金(一般募金)による助成について 第2号議案 令和7年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第3号議案 令和7年度(第75回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第4号議案 令和7年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第5号議案 令和8年度助成要綱の制定について 第6号議案 災害等準備金(令和4年度積立分)の取崩について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
市町共同募金委員会事務担当者 オンライン研修会・情報共有サロン	8月7日(木)	市町共募職員:27市町34名
市町共同募金委員会会計システム オンライン作業説明会	8月26日(火)	市町共募職員:35市町39名
市町PayPayオンライン説明会	9月19日(金)	市町共募職員:22市町27名
“赤い羽根”トークルーム(R8 No.1) 「寄付者目線の使いみち」	3月25日(水)	市町共募職員:8市町11名

(すべてオンライン開催)



第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	参加者
広報資材に係るオンライン説明会	4月2日(水)	全職員
都道府県共同募金会職員会議	4月24日(木)、25日(金)	主事
助成事業募集に関する事前説明会(車両競技)	6月12日(木)(オンライン)	主事
募金グッズに関するガイドライン・オンライン説明会	6月25日(水)、26日(木)	全職員
赤い羽根全国ミーティング	7月8日(火)、9日(水)	主事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月22日(火)、23日(水)	常務理事、事務局長
「全国ありがとうレポート動画」オンライン説明会	7月30日(水)	常務理事
都道府県共同募金会職員第1回オンラインサロン「共同募金と税制」	9月4日(木)	全職員
「令和7年8月大雨」全国情報共有会議	9月11日(木)(オンライン)	
「PayPay」オフライン寄付開始に伴う Zoom 説明会	9月16日(火)(オンライン)	
都道府県共同募金会職員研修会	11月18日(火)、19日(水)	主事
都道府県共同募金会職員第2回オンラインサロン 「団体の活動を言語化するための『助成申請書』のかたち」	12月12日(金)	全職員
都道府県共同募金会職員第3回オンラインサロン 「共同募金を効果的に伝える「動画作成とその活用方法」	1月23日(金)	全職員
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	2月10日(火)(オンライン)	常務理事、事務局長
都道府県共同募金会職員第4回オンラインサロン 「共同募金担当者同士のつながりを深めるための場づくり」	2月13日(金)	全職員
第205回評議員会	3月6日(金)(オンライン)	常務理事

(2) 社会福祉協議会主催の会議等

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会 ※	4月30日(水)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議 ※	5月30日(金)	常務理事、事務局長
東部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	7月24日(木)	常務理事、事務局長
県災害ボランティア本部・情報センター情報共有会議(台風第15号関係) ※	9月5日(金)~10月27日(月)(オンライン)	常務理事、事務局長、主事
夢みらい応援資金贈呈式 ※	12月23日(火)	常務理事
西部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	2月5日(木)	常務理事、事務局長
災害支援活動を行う県域団体との情報交換会 ※	2月9日(月)	事務局長、主事

※は県社協主催会議

(3) その他の会議、外部研修等

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月18日(金)~6月2日(月)(オンライン)	監事、常務理事、事務局長、主事

2 共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内容
7年度	71,419,884円 (うち市町共同募金委員会経費 15,707,585円)	14.87%	人件費、事業費、事務費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	70,446,380円 (うち市町共同募金委員会経費 16,054,244円)	13.96%	同上

3 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査は、5年に1回の周期で行われるので(直近は令和6年度実施)、今年度は対象外であった。なお、次回は令和11年度の実施が予想される。



第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿

1 理事・監事

[令和8年3月31日現在] 理事定数9～11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	柴田 久	理事	廣野 篤男
副会長(理事)	清野 文雄	〃	池野 良一
副会長(理事)	杉山 茂	〃	二宮 徹
副会長(理事)	中村 直保	常務理事	影島 秀明
理事	杉山 千恵	監事	青島 伸雄
〃	秋山 京子	〃	神山 正之
〃	水野 明		

2 評議員

[令和8年3月31日現在] 評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	中村 泰昌	評議員	下位 桂子
〃	窪田 賢一	〃	鈴木 良則
〃	原木 雅雄	〃	河村 孝之
〃	小野田 秀生	〃	角山 雅典
〃	坂根 英夫	〃	戸野谷 宏
〃	中村 満	〃	田中 克尚
〃	鈴木 孝一	〃	渡邊 順子

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和8年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員(外部委員)	田中 宏和	委員(監事)	神山 正之
〃	佐々木 希世子	〃 (職員)	藤原 由佳子
〃	田中 尚		

4 配分委員会委員

[令和8年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員長	清野 文雄	委員	中村 満
副委員長	影島 秀明	〃	名倉 善郎
委員	二宮 徹	〃	野村 諒子
〃	鈴木 良則	〃	河村 孝之
〃	京極 仁志	〃	内野 浩恵
〃	宮崎 真弘	〃	山下 登紀夫
〃	日詰 一幸		

5 職員

[令和8年3月31日現在]

役職名	氏名
常務理事	影島 秀明
事務局長	藤原 由佳子
主事	常盤 寛子
嘱託員	石川 ひろみ
〃	小林 友美子
補助員	長谷川 明

【事務所所在地】
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館ソズウェル4階 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp URL http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/